

平成 26 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち
政策目標 4 はつかいちならではの個性を育み、誇り・愛着が持てるまちに
重点的取組 4 安全でおいしい食の里をつくる

担当課名	環境産業部 農林水産課
予算	会計 1 一般会計
算	款 5 農林水産費
科	項 1 農業費
目	目 3 農業振興費

事業名	担い手経営基盤強化事業	事業開始年度	平成 年度
		根拠法令 条例 個別計画等	新規就農総合支援事業実施要綱 廿日市市農業振興補助金交付要綱 第5次総合計画（農産物の品質向上）

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	新規就農者、認定農業者、 農業生産法人、	新規就農者、認定農業者及び農業生産法人等に対し各種事業を実施することにより、地域農業の担い手となる農業者を育成・支援する。

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
担い手協議会 市		補助金支払事務（審査、現地確認） 補助金申請事務

3 平成26年度 決算（活動実績・コスト情報・目標到達度）

実施した事業の内容（活動実績）

・ 担い手支援事業補助金

1,000,000 円

地域担い手育成総合支援協議会において、経営力の高い農業者を育成するため、担い手となる農業者に対して、経営・生産技術の指導事業等を行った。

・ 集落法人経営基盤強化事業補助金

2,617,500 円

吉和地域の担い手である農事組合法人よしわが取り組む、売れる米づくりや地産地消（学校給食米）の推進を促し、農業経営の安定に向けて支援した。

・ 新規就農総合支援事業（青年就農給付金）

15,750,000 円

経営が不安定な新規就農者の確実な営農定着と早期の経営安定化を図るため、青年就農給付金を交付した。

・ 生産体制整備・販路拡大支援事業（農業振興ビジョン再構築事業）【新規】

2,700,000 円

担い手の計画的な生産体制整備・販路拡大を図り、生産者と実需者（飲食店、製造・販売業者等）をつなぐ仕組みづくりに向けた調査を行った。

【歳入】

農業振興基金繰入金

2,617,500 円

新規就農総合支援事業補助金

15,750,000 円

【歳出】

担い手支援事業補助金

1,000,000 円

集落法人経営基盤強化事業補助金

2,617,500 円

新規就農総合支援事業（青年就農給付金 7 名）

15,750,000 円

生産体制整備・販路拡大支援事業委託料

2,700,000 円

コスト情報（円）

項 目		平成 25 年度決算	平成26年度決算①	①のうちH25から繰越	H26からH27へ繰越
財源内訳	直接事業費 A	15,779,156	22,067,500		
	国庫支出金				
	県支出金	11,600,000	15,750,000		
	借入金（市債）				
	その他(使用料など)	3,395,000	2,617,500		
	市（市税など）	784,156	3,700,000		
人件費（按分）B		0.11 人 933,460	0.11 人 943,140		
総事業費（A+B）		16,712,616	23,010,640		
単位換算	① 人口（4月1日現在）	117,680 人	117,182 人		
	市民1人当たり	142	196		
②					

到達目標

活動及び成果指標		単位	H25実績値	H26目標値	H26実績値	H27目標値	備考
活動成果	新規就農者（給付金対象者）経営面積（累計）	a	941	966	1065	1,066	
	新規就農者（給付金対象者累計）	人	7	9	9	11	
	軟弱野菜(ほうれんそう等)販売量	t	77	96		132	
	認定農業者数	戸	24	27	25	31	